



PRAP JAPAN, Inc.

JASDAQ

証券コード

2449

平成23年8月期 決算説明会

平成23年10月25日

株式会社 プラップジャパン

© 2011 PRAP Japan, Inc. All rights reserved.

平成23年8月期 連結業績の概況

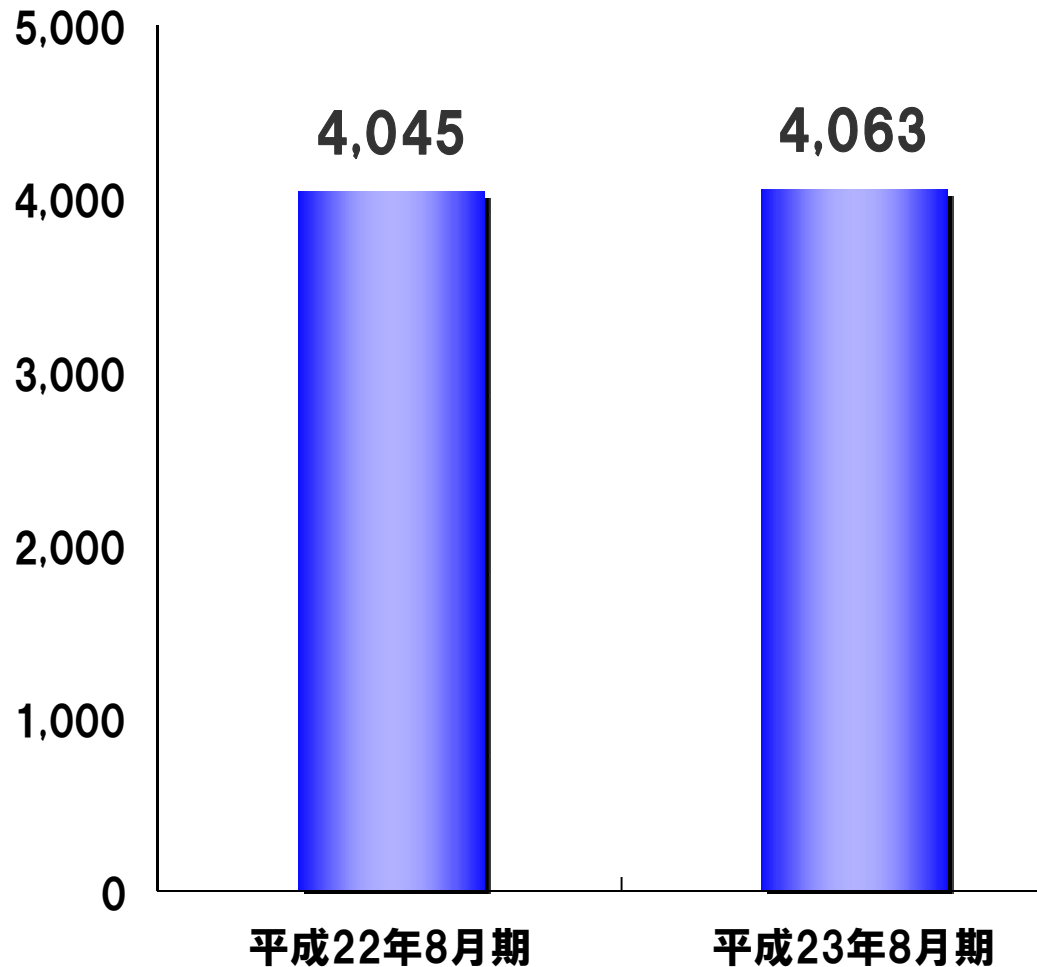
(単位:百万円)

	平成22年8月期	平成23年8月期	前期比	予想比
売上高	4,045	4,063	+ 0.4%	+ 3.6%
営業利益	476	422	△11.3%	△ 4.3%
経常利益	460	427	△ 7.1%	△ 1.7%
当期純利益	250	171	△31.3%	△14.0%

※予想比は平成22年10月15日発表の「平成23年8月期の連結業績予想」との差異

売上高推移

(百万円)



◆受注は前期並みを確保

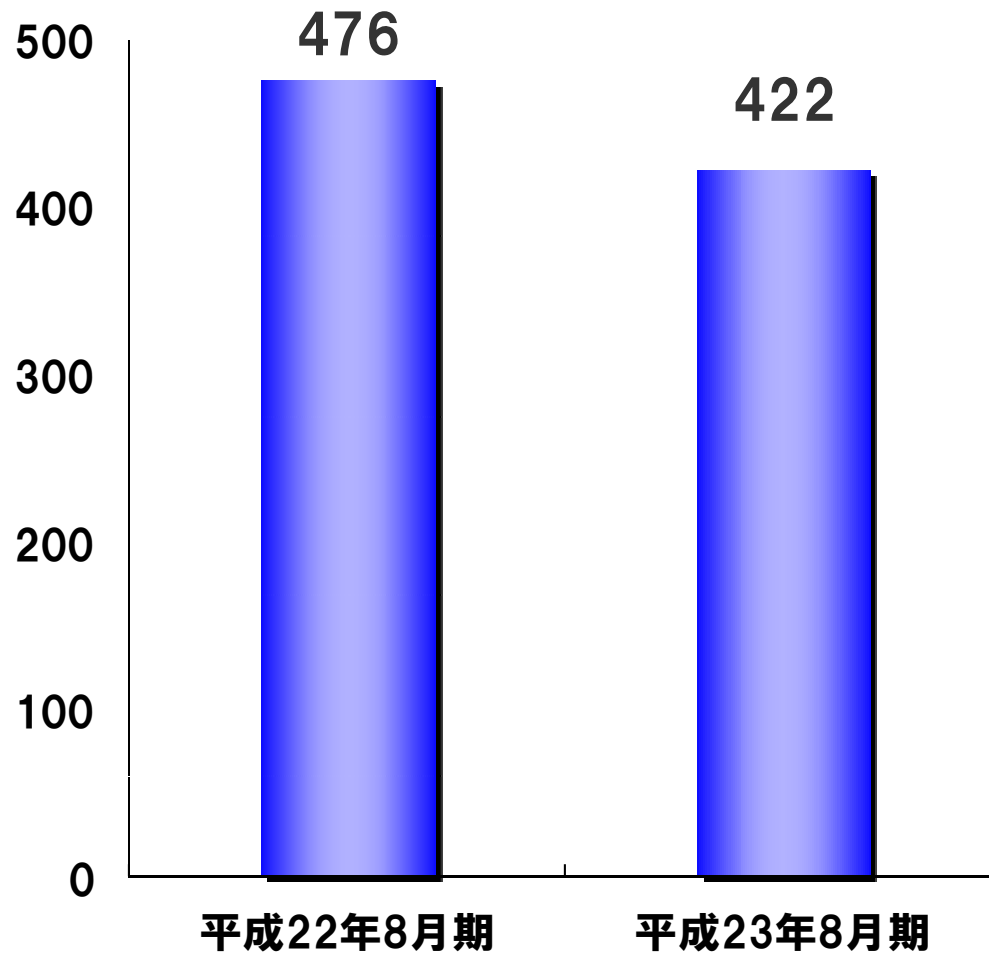
◆中国事業においてプロジェクト業務の受注が大幅増加

一方で

◆受注単価減少、
大型イベントの受注減少、
受注競争の激化、
短期プロジェクト化が散見

営業利益の推移

(百万円)



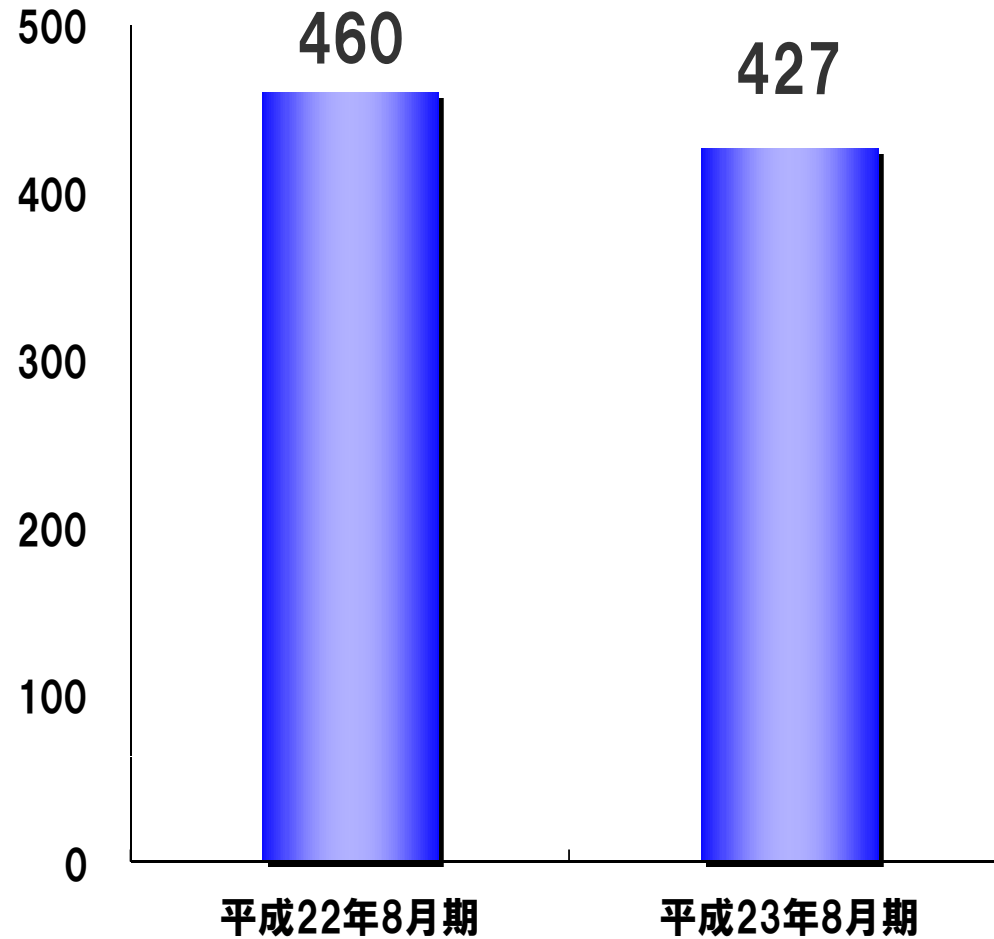
◆販売管理費を引き続き抑制

一方で

◆売上原価は、外注費や媒体費などが増加

経常利益の推移

(百万円)



◆ 営業利益の減益

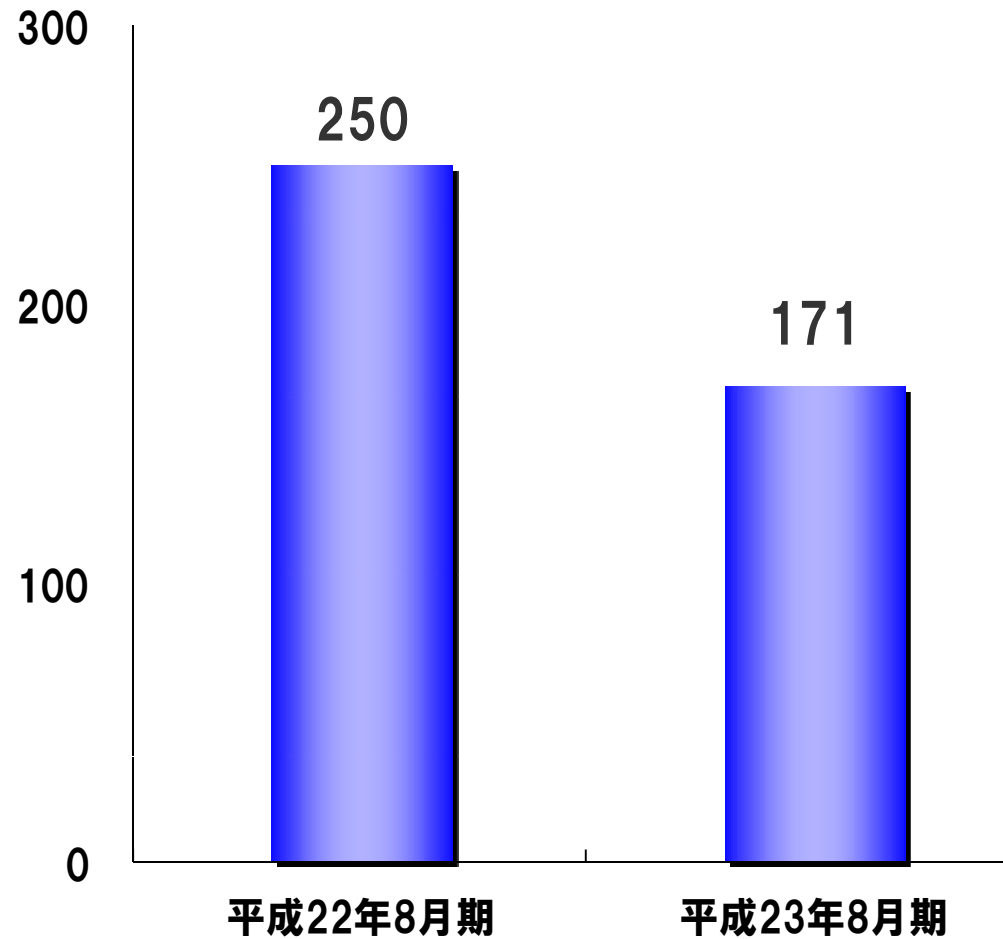
◆ 受取配当金を計上

一方で

◆ 為替差損、自己株手数料等を計上

当期純利益の推移

(百万円)



◆特別損失

- 資産除去債務会計基準適用に伴う影響
- 本社移転に伴う事務所移転費用引当金

部門別業績

(単位:百万円)

	平成22年8月期	平成23年8月期	増減額	前期比
コミュニケーションサービス部門	3,714	3,840	+126	+ 3.4%
クリエイティブサービス部門	330	222	△108	△32.8%

※前期連結累計期間にクリエイティブサービス部門に所属していた一部門が、当期よりコミュニケーションサービス部門に異動となっております。それにともない前年同期比は、異動部門の前期連結累計期間売上高を組み替えた金額に対して算出しております。

部門別業績の概況

コミュニケーションサービス部門(CS)

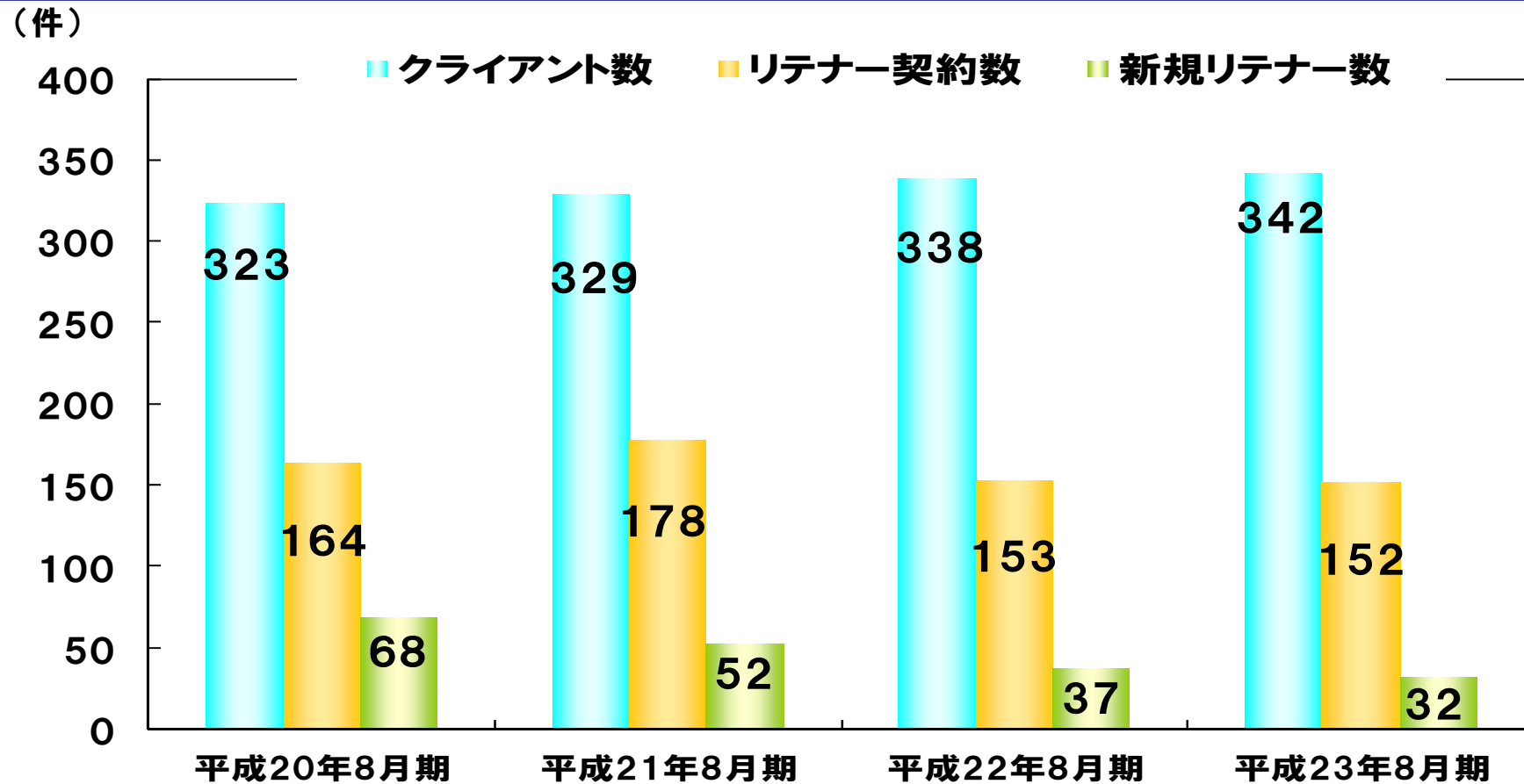
- **受注は概ね横ばい**
 - マーケティングPR分野の受注割合の比重は依然として高い
- **中国事業が大幅な伸び**
 - 自動車、電器、化粧品、地方自治体等のプロジェクト業務
 - 上海モーターショー、環境関連展示会出展企業のPR業務
- **デジタルPR領域のサービス体制を拡充**

部門別業績の概況

クリエイティブサービス部門(CR)

- **イベント業務は、**
食品、外食、地方自治体、外資系消費財等のイベント・記者発表会を受注
- **編集制作業務は**
ヘルスケア、政府系輸入食肉団体、自動車、鉄道などの広報誌制作業務等を受注
- **イベント業務の受注が全般的に減少傾向**
-震災による延期・中止等の影響

営業活動の概況



クライアント数、リテナー契約は、ほぼ横ばい
スポット案件は震災の影響で減少

第41期のトピックス

- ◆ 9月 **DI(デジタルインフルエンس)事業推進室
および Webコミュニケーション部 を設置**
- ◆ 11月 **自己株式の取得**
- ◆ 2月 **「中国ビジネスの広報戦略」講座を開講**
- ◆ 2月 **自己株式の取得(～2011.5)**
- ◆ 4月 **慶應義塾大学にて2年目となるプラップジャパン寄附講座開講**
- ◆ 7月 **デジタルPRの総合サービス「Digital PR Platform」運用開始**
- ◆ 8月 **本社移転を決定(12月上旬移転予定)**

平成24年8月期 連結業績の見通し

(単位:百万円)

	第2四半期連結累計期間	通 期
売 上 高	1,811 (△15.6%)	3,739 (△ 8.0%)
営業利益	125 (△51.7%)	375 (△11.2%)
経常利益	121 (△54.2%)	369 (△13.6%)
当期純利益	32 (△71.6%)	159 (△ 7.2%)
1株当たり 当期純利益	7円88銭	38円89銭

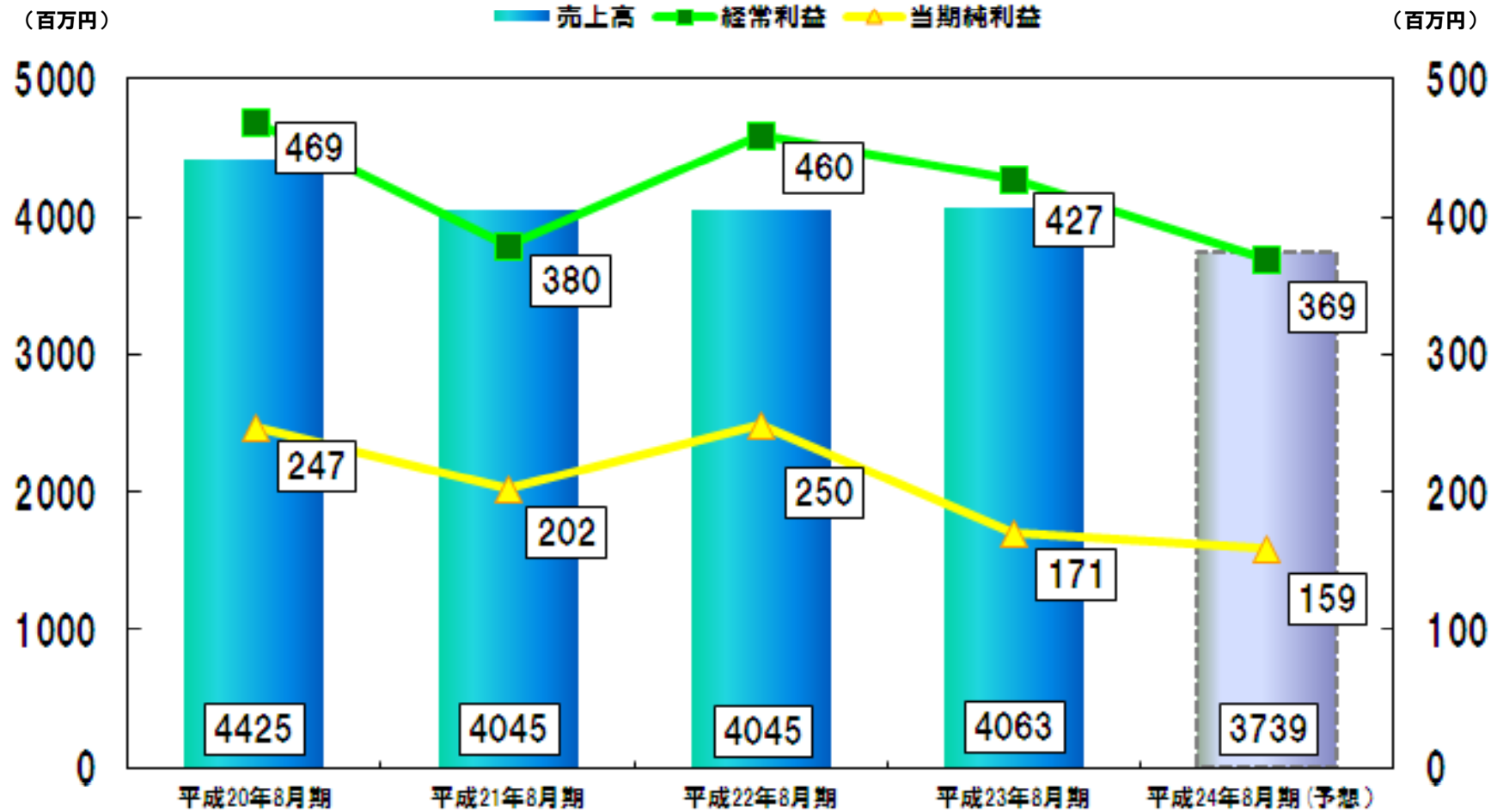
(%表示は、通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

平成24年8月期 連結業績の見通し

- **本社移転に伴う費用増**
- **新規引き合いは引き続き緩やかな増加傾向**
- **広報予算の支出に対する抑制姿勢は継続**
 - 受注単価の減少、PR活動の短期プロジェクト化、大型案件減少
 - 競合間における受注競争、価格競争の激化
- **営業活動の強化**

【参考】業績推移

業績推移グラフ



配当推移

◆ 前期比2円増配

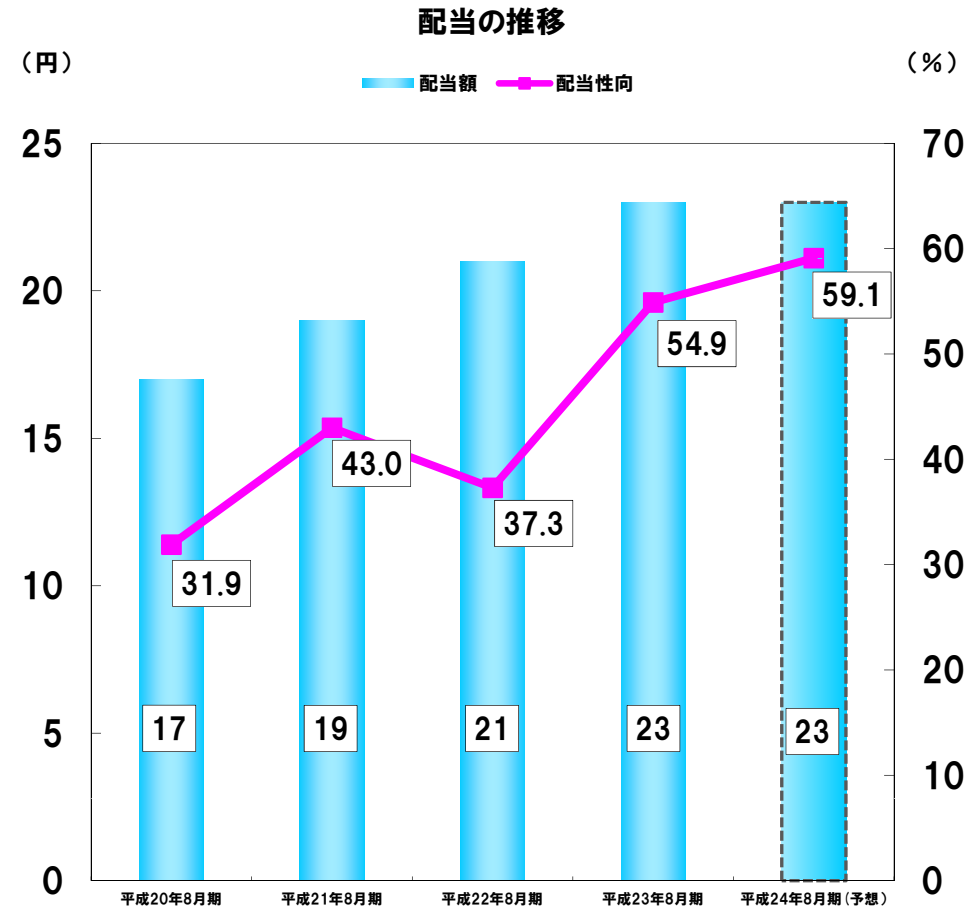
配当金額 23円

配当性向 54.9%

◆ 平成24年8月期(予想)

配当予想 23円

配当性向 59.1%



成長戦略

顧客ニーズを的確に捉え営業活動を一層強化

高付加価値・高収益型の新規事業／サービス開発

中国子会社2社体制で事業を拡大

M & A及び業務提携契約の推進

自社マーケティングの強化

戦略 新規事業・サービス開発の推進

■ DI(デジタルインフルエンサー)事業推進室

- インターネットメディアにおいて、クライアント情報が効果的に取り上げられるためのPR戦略の企画立案
- 新規・既存顧客への提案、コンサルティングや営業チーム支援は、この1年で約200件。
- 直接売上だけでなく、既存顧客の契約継続への寄与や社内における教育面での寄与も
- 今後は、危機管理コンサルティングサービスなど既存サービスのノウハウをデジタル領域で活かすサービス拡充も推進

戦略 新規事業・サービス開発の推進

■ Webコミュニケーション部

- 7月からデジタルPRの総合サービス「デジタルPRプラットフォーム」を提供開始。第1弾は、プレスリリース配信・掲載サービス。
- 今後は、動画リリースの制作・配信、ソーシャルメディア参加者へのプレスリリース直接配信など、サービス拡充予定。



【参考】中国事業の業績推移

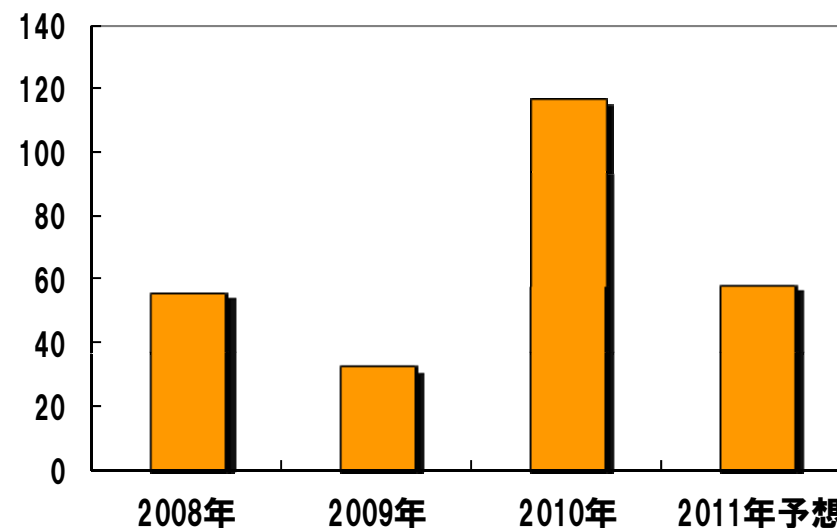
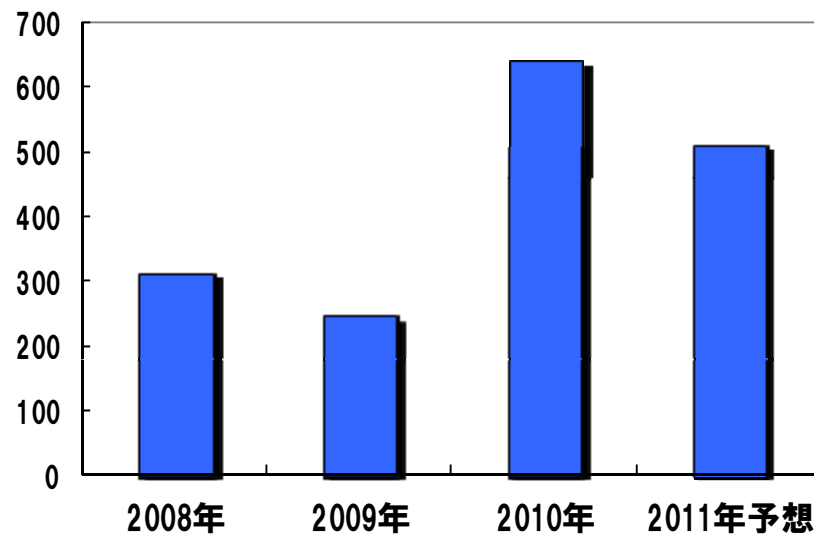
(単位：百万円)

	2008年	2009年	2010年	2011年予想
売上高	315.3	249.8	643.9	511.1
経常利益	55.4	32.2	117.0	57.9

※2010年より北京博瑞九如公共関係顧問有限公司(通称:ブレインズチャイナ)を組入れ

■ 売上高

■ 経常利益



【参考】書籍発刊

中国ビジネスに

失敗しない★

7つのポイント

PR戦略で乗り越える！

プラップジャパン代表取締役社長

杉田 敏

中国ビジネスのPR戦略で
最先端を行くプラップが
わかりやすく解説！

中国の落とし穴に
落ちないために

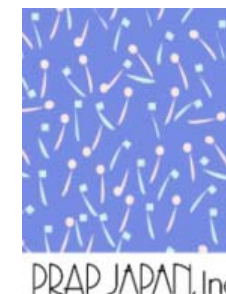
角川書店

10月13日
角川書店より発刊

プラップジャパンの概要

会社概要

- 創 立 1970年
- 資 本 金 4億7千万円
- 代 表 者 代表取締役社長 杉田 敏
- 本 社 東京都渋谷区渋谷2丁目
- 連結売上高 40億6,300万円(平成23年8月期)
- 連結従業員数 257名(平成23年8月末現在)



会社概要

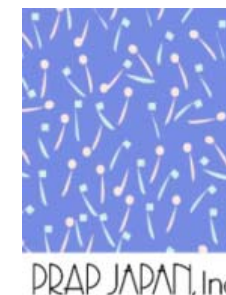
■ 連結子会社

- 北京普樂普公共関係顧問有限公司
(プラップチャイナ)
- 株式会社ブレインズ・カンパニー
- 株式会社旭エージェンシー
- 北京博瑞九如公共関係顧問有限公司
(ブレインズチャイナ)

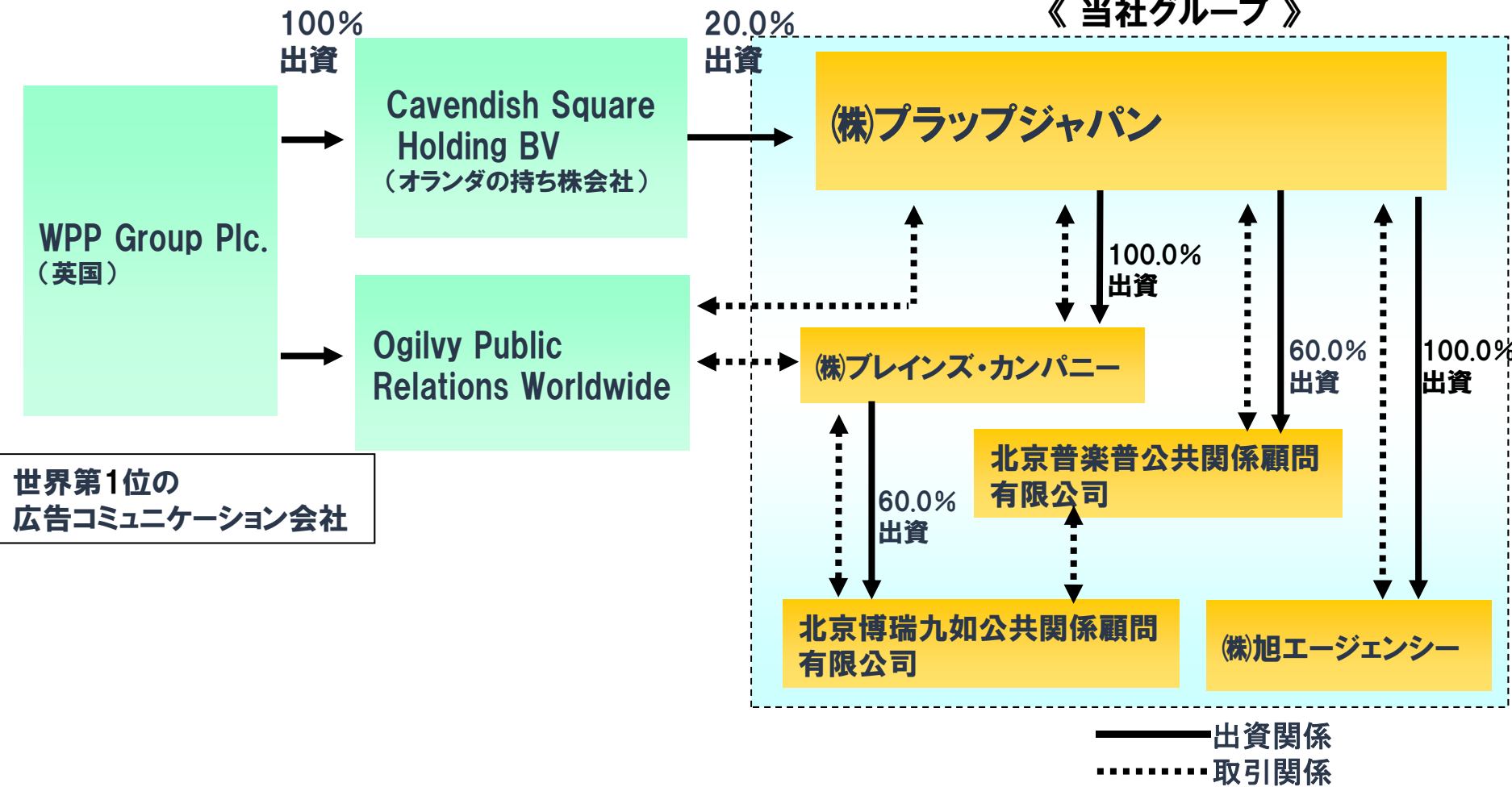
■ 資本・業務提携(海外ネットワーク)

- Ogilvy Public Relations Worldwide

■ 平成17年7月にJASDAQに上場



WPP Group Plc.との関係



プラップジャパンのサービスメニュー

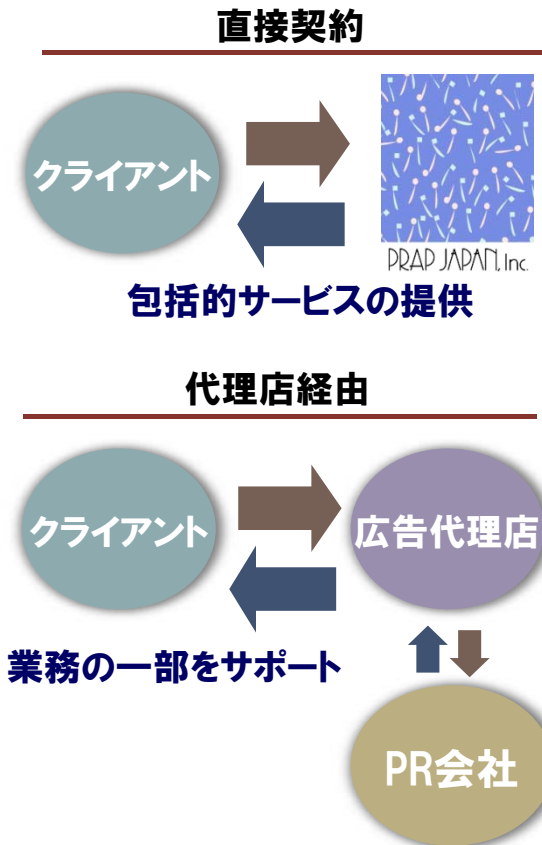
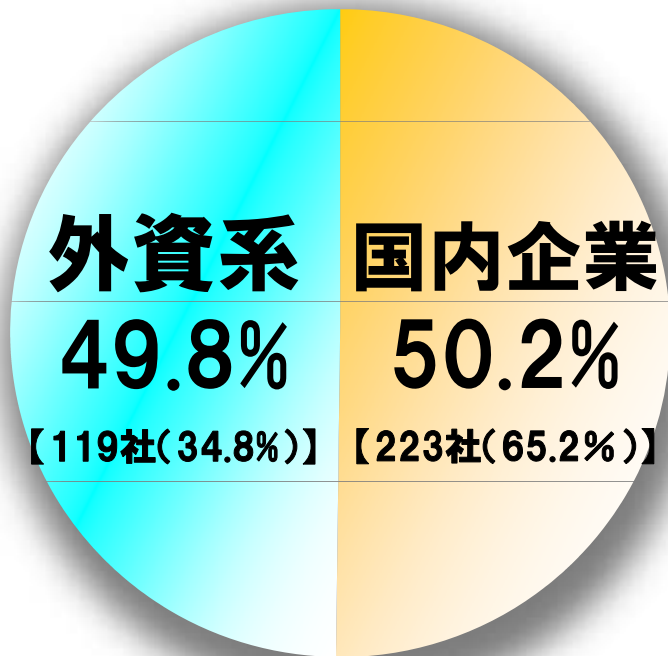
マーケティングPR	さまざまなコミュニケーション手法を駆使して、製品・サービスの認知度を向上。販売促進につなげ、企業のマーケティング活動をサポート。
コーポレートPR	マスメディアなどを通じて、経営トップの意思、企業戦略をステークホルダに訴求。企業価値を高め、競合優位性を確保。上場会社のIR施策も支援。
M & A コミュニケーション支援	社内外のコミュニケーションを円滑化し、重要な企業戦略のひとつになりつつあるM&Aを成功に導く。M&A後の社内コミュニケーション施策も支援。
メディアトレーニング	1対1のインタビューから謝罪会見まで、他社にない実践的な内容でメディア対応を指導。
危機管理	平常時には、危機管理マニュアルの整備、Q&Aの準備や連絡網の整備、シミュレーション等を行い、発生後は発表の準備、情報収集などを行う。
官庁・自治体 公益法人PR	官庁・自治体のPRに加え、地元理解促進活動の支援・助言・コンサルティングを行い、市民との友好関係確立につなげます。
デジタル コミュニケーション	オンラインメディアやソーシャルメディアといったインターネットメディアにおいてクライアント情報が効果的に取り上げられるようなPR戦略を企画立案。

成長を支える高収益構造

経営戦略の一環として
コミュニケーションを重視する
外資系企業の売上比率が高い

直接取引がもたらす高い利益率
取引の約90%は直接契約

売上高内訳
(平成23年8月期)



本資料お取扱い上のご注意

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- 本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料中の予想・予測などは、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあります。ご承知おきください。

お問い合わせ

株式会社プラップジャパン 広報・IR室

TEL:03-3486-6831 E-mail:ir_info@ml.prap.co.jp